

# 武豊発電所視察記

## 地方政治クリエイティブ 伊藤 秀昭

3・11から3年。起った2011年鎮魂の思いが日本列島を包むなかで、3月14日、「メガソーラーたけとよ・武豊火力発電所視察会(主催＝東三河懇話会)に参加した。

「メガソーラーたけとよ」は発電出力7500KW(一般家庭約2000世帯分)の中部地区最大級の大規模太陽光発電所。愛知県知多郡武豊町に建設され、東日本大震災が

起った2011年10月に営業運転を開始し、ナゴヤドーム3個分の広大な敷地(約14万平方メートル)に整然と並び、約3万9168枚の太陽光パネルが20度の勾配(こうばい)で並び、まは壮観です。

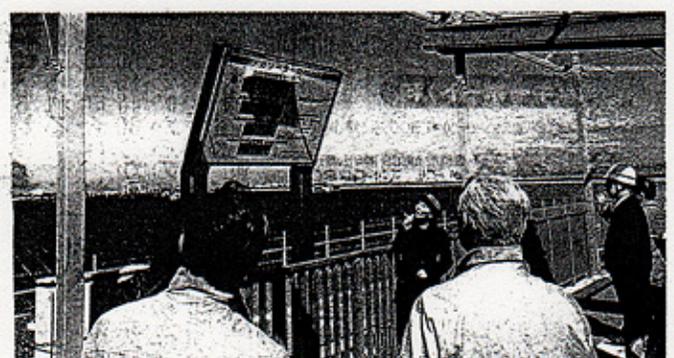
## 再生可能エネルギーを考える

再生可能エネルギーを再生可能エネルギーにするには、雨や曇りの日は発電量が少ない、大量の電気を貯蔵するには広大な面積が必要などの課題があります。

太陽光発電の特徴  
太陽光発電は、太陽の光という枯渇することのないエネルギーを利用する発電方法であり、発電時にCO2を出さないというメリットがあります。

再生可能エネルギーの基幹電源として期待されています。

さらなる開発や普及促進に努めるとともに、火力、水力、原子力など各発電方法の運転特性や環境への影響、経済性などの特性を踏まえて、バランスのとれた最適な電源の組み合わせとなるよう電源のベストミックスに取り



快晴だった14日は6000kwhを超えた発電量だった

組んでいます」と永崎重文所長は言う。